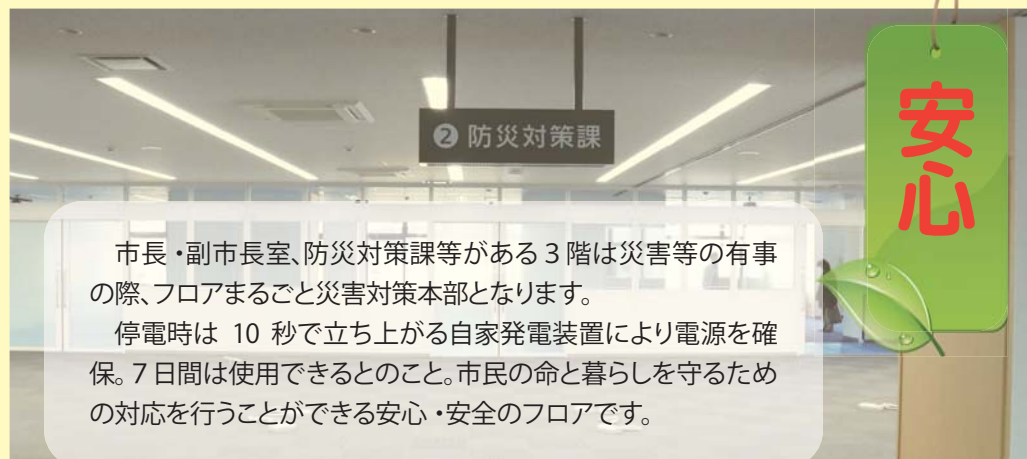




新庁舎が  
建つまで



# 新庁舎内を ご紹介!



市長・副市長室、防災対策課等がある3階は災害等の有事の際、フロアまるごと災害対策本部となります。  
停電時は10秒で立ち上がる自家発電装置により電源を確保。7日間は使用できるとのこと。市民の命と暮らしを守るための対応を行うことができる安心・安全のフロアです。



**仮眠室**  
長期化した災害対応時など、シャワールーム付きの仮眠室は、職員の強い味方。市民生活を守る職員に対する厚生面も充実しています。



**コンセント**  
緑は太陽光発電、赤は自家発電用のコンセント。



**災害対応照明**  
電源が自家発電に切り替わると天井の照明も自動で半減されます。



**トイレ**  
キッズや障害のある人も使用しやすい多目的トイレや、授乳室、ベビーシートも完備。



**案内表示**  
色番号と同じ色を各カウンターに表示することでスムーズに移動できるように工夫されています。



**その他**  
市民スペースや、大小フレキシブルな会議室、プライバシーに配慮した相談室も豊富に作られています。  
また、香南の街並みと田園風景、そしてキラキラ輝く太平洋を望む景色は7階建てならではの素晴らしい眺望。ぜひみなさんもおご覧ください。



▲2階の情報コーナーでは、さまざまな市の情報やお知らせを知ることができます



**市産材** 夜須町の市有林から切り出された杉の腰壁は節目のない美しさ。



**階段** 木目の階段は段差が緩やかで、踏み面も広く、明るい採光により昇降もスムーズです。



**CLT**  
県産材のCLTは鉄骨とガッチリ組まれ、筋交いの役目を担いつつ、木目の優しさが引き立ちます。



**市議会議場(7階)** 県産材等を表面に使用した机や、台、壁面が印象的で天井も高く、木の香り漂う議場。前向きで活発な議論が繰り広げられ、これからも明るい香南市に発展して行くことに期待が広がります。議会開催中は傍聴もできます。

いよいよ完成した新庁舎内を、広報編集委員が見学させてもらいました。利用の多い窓口がある1、2階は天井も高く広々。県産材の木材がふんだんに使われた温もりのある内装や利用しやすい設備。災害時を想定した防災拠点としての機能の高さなど、さまざまな工夫と配慮のある庁舎となっています。一部をご紹介しますので、ぜひみなさんも新しい庁舎を訪れ、ご利用ください。  
広報編集委員 担当/久保きみ